

食の志向等に関する調査結果

- 1 食に関する志向
- 2 国産品かどうかを気にかけるか
- 3 国産食品の輸入食品に対する価格許容度

調査要領

調査時期 平成28年1月1日～1月17日
調査方法 インターネット調査
全国の20歳代～70歳代の男女2,000人（男女各1,000人）

※インターネット調査であるため、回答者はインターネット利用者に限られる。

詳しい調査結果は、当公庫ホームページ (<http://www.jfc.go.jp/>)に掲載しています。
トップページから「刊行物・各種調査結果」→「農林水産事業 調査結果」→「消費者動向等調査」の順をご覧ください。

<調査に関するお問い合わせ>

日本政策金融公庫 農林水産事業
情報企画部 TEL 03-3270-5585

注：図表において、四捨五入の関係上、合計が一致しない場合があります。

平成28年3月



日本政策金融公庫

農林水産事業

1 食に関する志向

食の志向、引き続き「健康志向」が最多

- 消費者の現在の食の志向について、「健康志向」は41.7%で、前回調査(平成27年7月)より0.7ポイントとわずかに上昇し、最多回答。次いで、「経済性志向」(36.4%)、「簡便化志向」(31.2%)の順。
今回調査において、最も大きく変化が見られたのは「簡便化志向」。前回調査(27.9%)に比べて3.3ポイントの上昇。
- 年代別では、「健康志向」は高齢世代、「経済性志向」と「簡便化志向」は若齢世代に集中する特徴。その中で、「健康志向」が20代において上昇し、20、30、40代までがほぼ同率となり、50代から大きく上昇するという特徴的な動きが見られた。
- 今後の食の志向では、「健康志向」が44.6%で現在の志向と同様、最多回答で、さらに現在の志向から2.9ポイント上昇。「安全志向」についても、0.9ポイントとわずかに上昇しており、「健康志向」と「安全志向」が今後高まることがうかがえる結果。

図1 現在の食の志向（上位）の推移（2つまで回答）

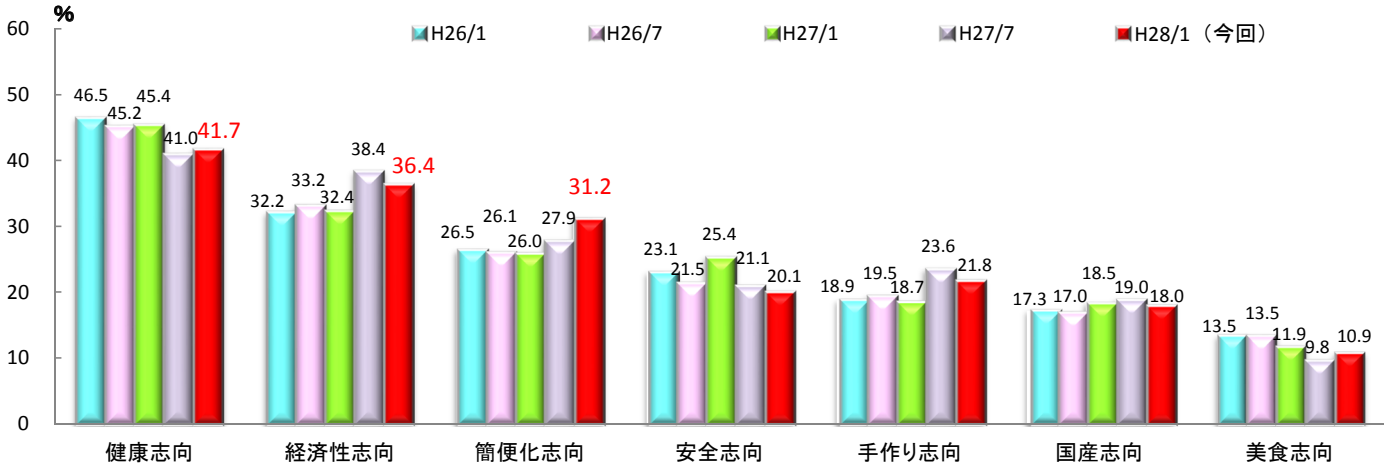


図2 年代別 現在の食の志向（上位）（2つまで回答）/平成28年1月調査

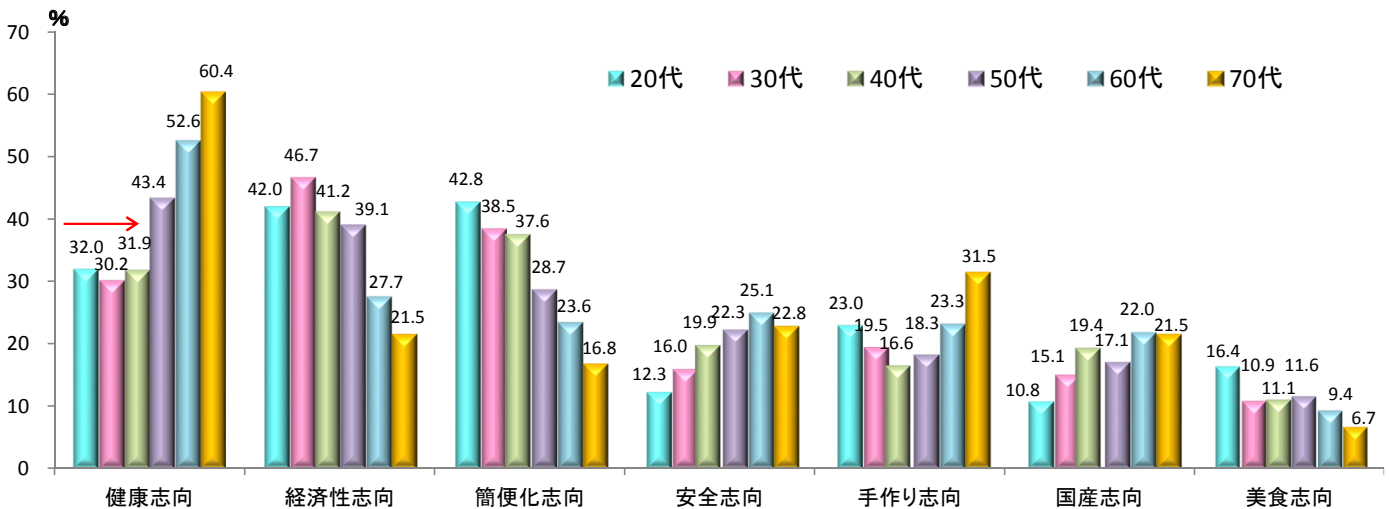
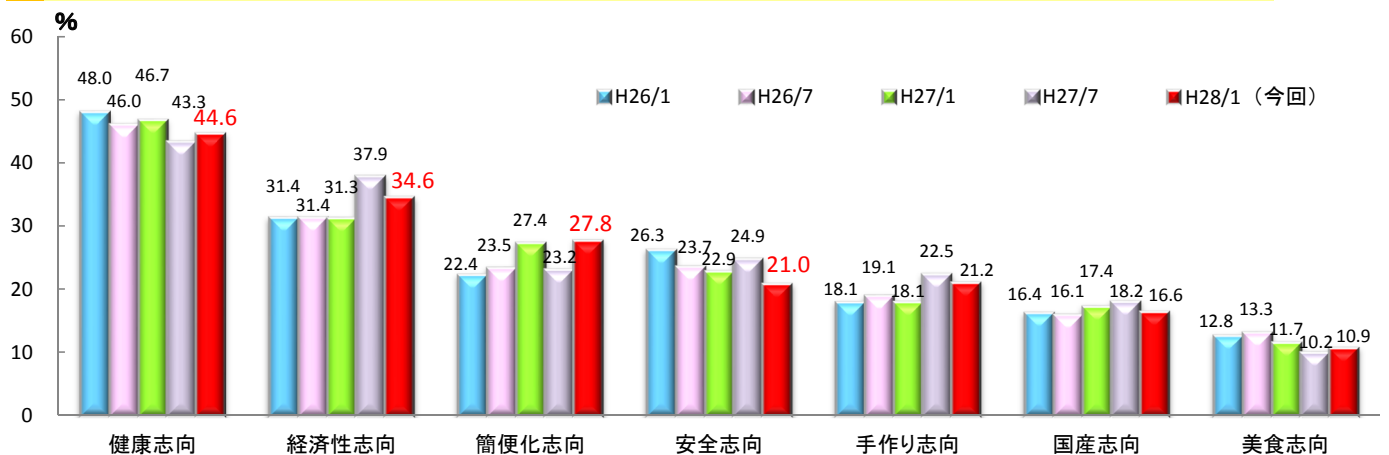


図3 今後の食の志向（上位）の推移（2つまで回答）



2 国産品かどうかを気にかけるか

外食時に国産かどうか「気にかける」が増加

- 食料品を購入するときに国産かどうか「気にかける」は77.9%、外食するときに国産かどうか「気にかける」は41.9%。特に外食時に「気にかける」割合は、前回調査(39.1%)より2.8ポイント上昇するなど、徐々に「気にかける」割合が増加。
- 国産原料の食品に対するイメージでは、価格は「高い」が、「安全」で「おいしい」という評価が顕著。見た目についても、約5割が「色・形が良い」と回答。

図4 食料品を購入するとき/外食するときに国産品かどうかを気にかけるか

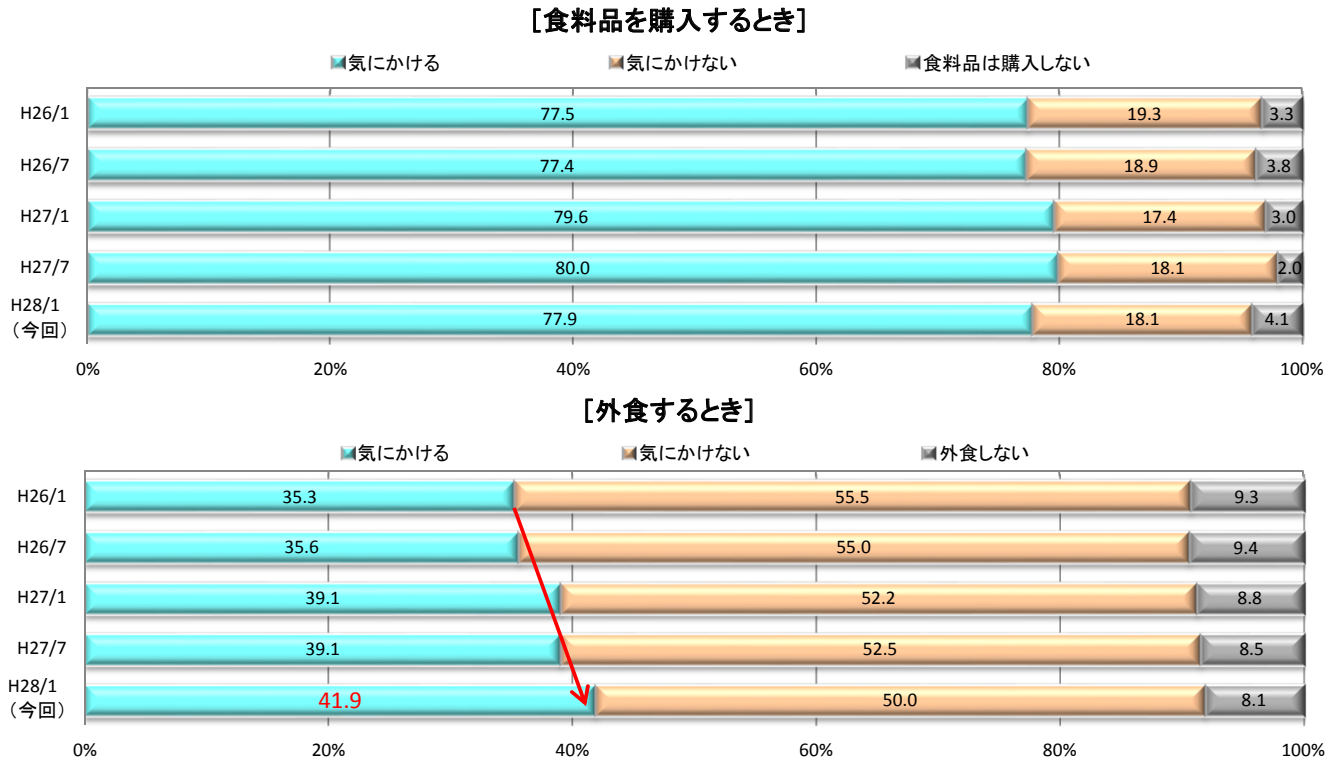
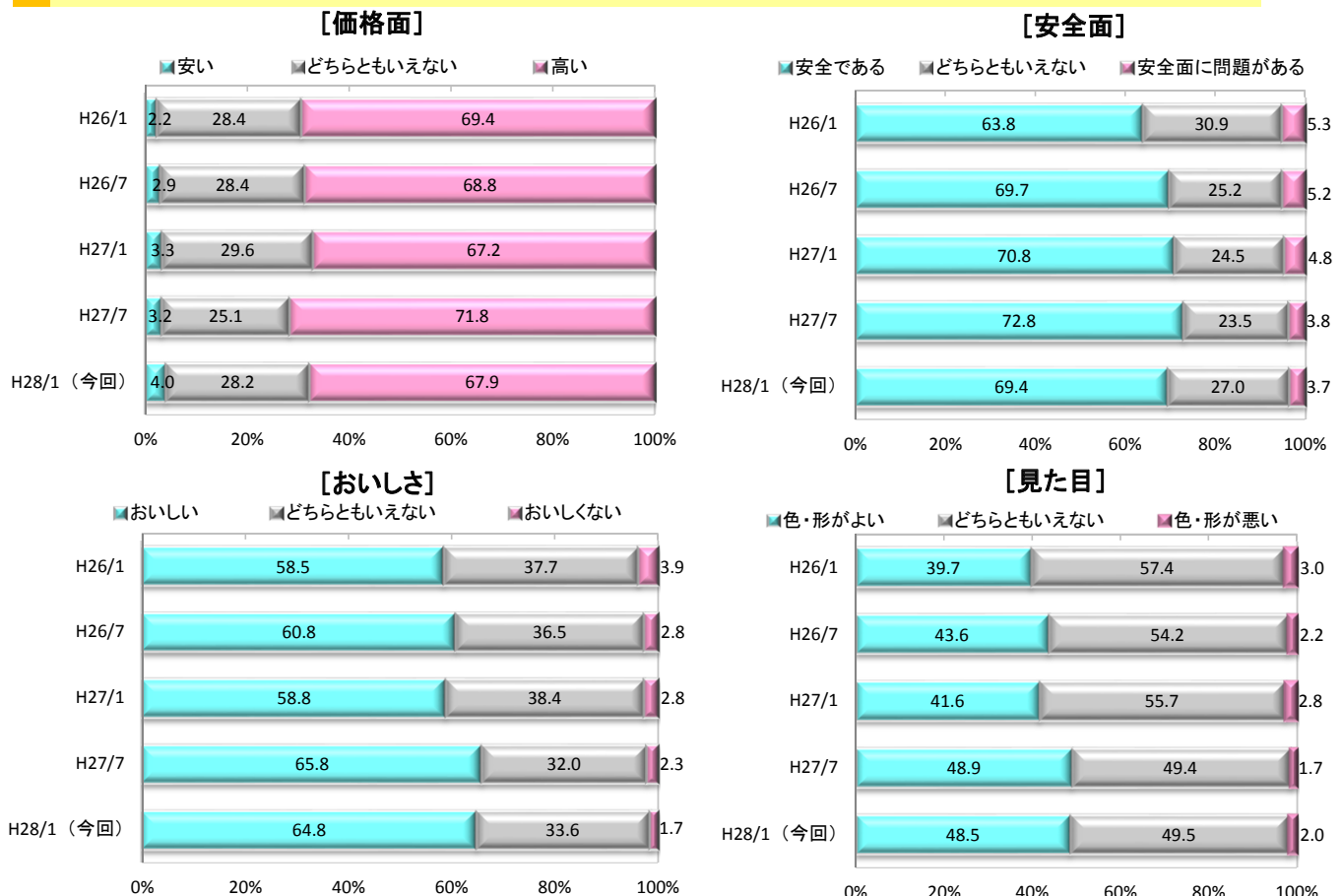


図5 国産原料の食品に対するイメージ（価格面、安全面、おいしさ、見た目）



3 国産食品の輸入食品に対する価格許容度

「割高でも国産を選ぶ」支持傾向が続く

- 「割高でも国産品を選ぶ」という回答は、前回調査(64.1%)からわずかに低下しつつも、依然6割を超える高い割合(62.8%)となり、国産支持の傾向が継続。
- 品目別では、「米」は7割超、「野菜」「きのこ」では6割超、「果物」「牛肉」「豚肉」「鶏肉」「魚介類」では約6割が「割高でも国産を選ぶ」と回答。

図6 国産食品の輸入食品に対する価格許容度の推移

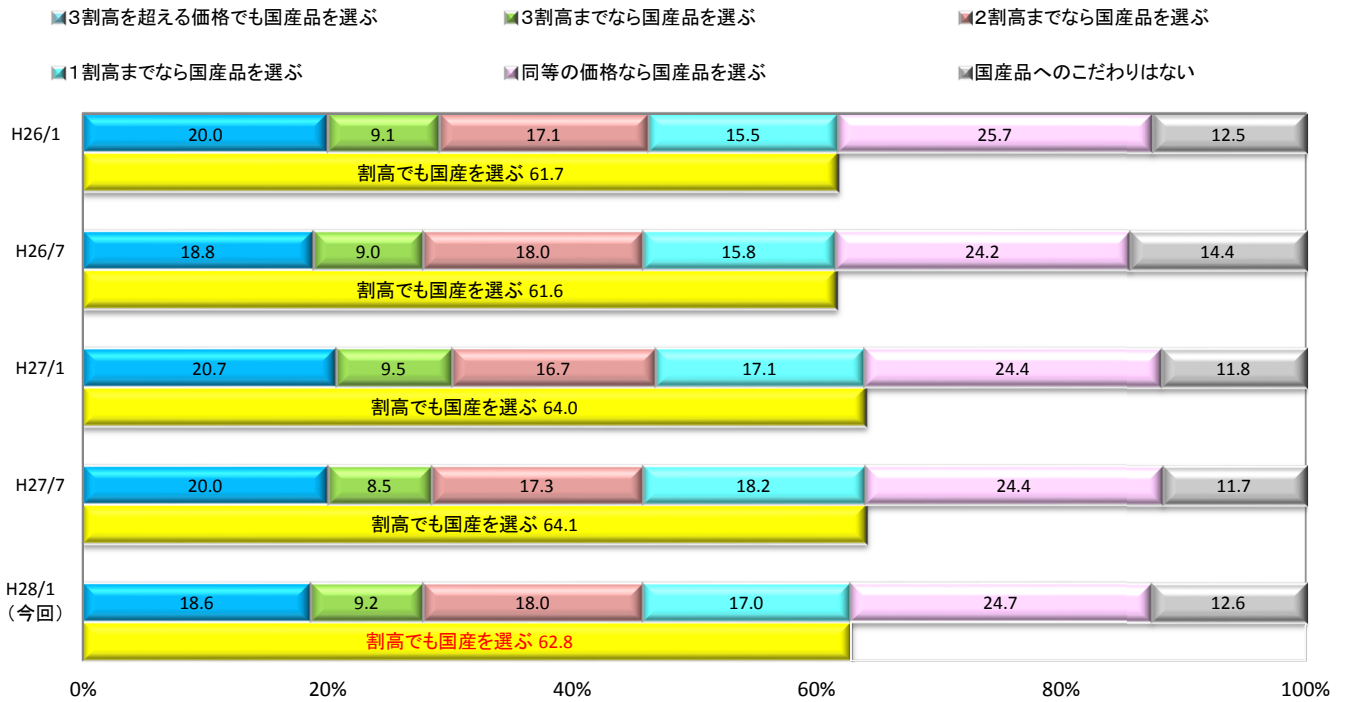
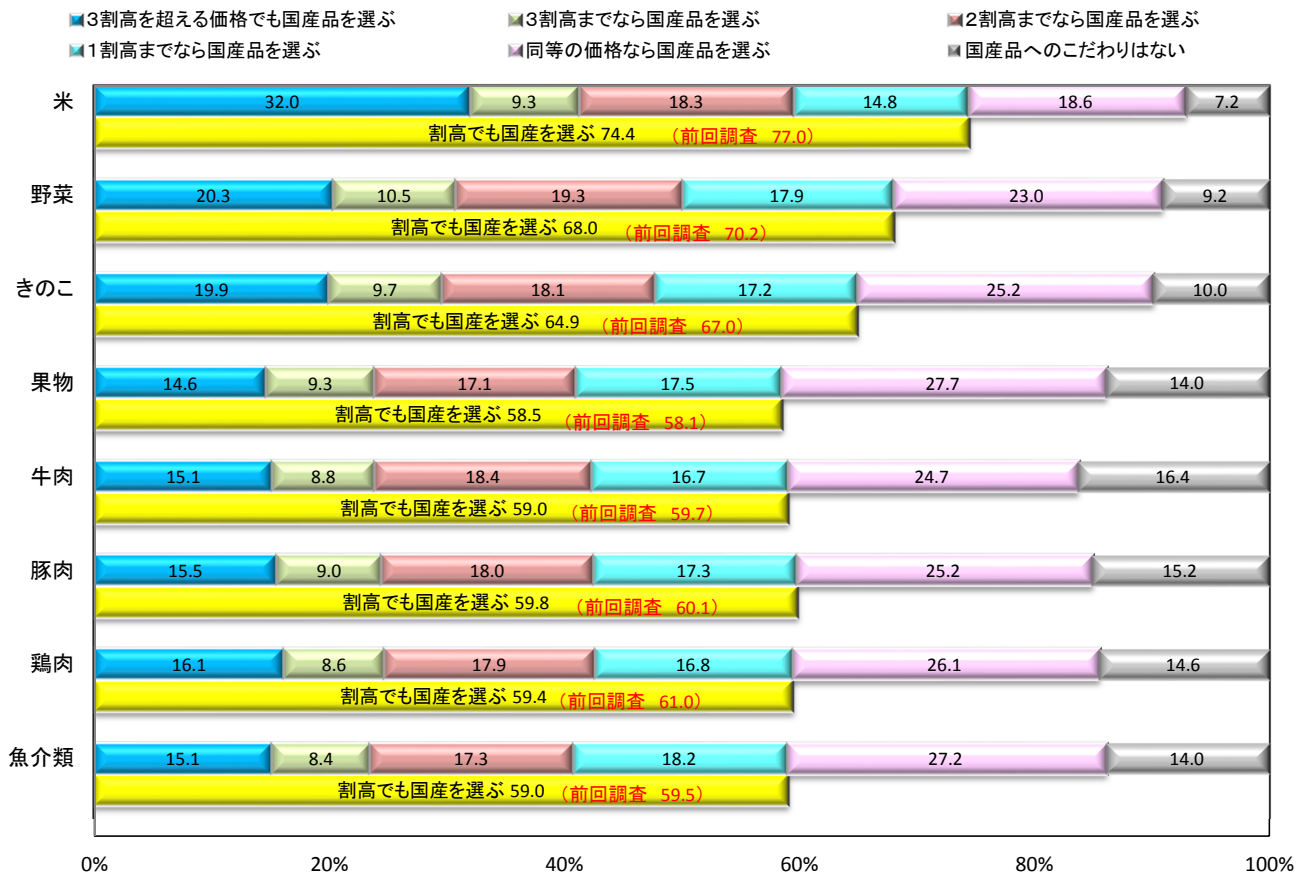


図7 品目別の国産食品の輸入食品に対する価格許容度／平成28年1月調査



4 インターネットによる通信販売の利用状況

約3割がインターネット通販で農林水産物などを購入

- インターネットの通信販売(ネット通販)による農林水産物などの購入経験者は、おおよそ3割。年代別では、20、30代が約2割であるのに対し、40代以上は3割以上となっており、若い世代の方が少ないという結果。購入理由は、「店頭まで買いに行く必要がなく楽だから」が最多。男性では「価格が安いから」、女性では「そこでしか購入できないものがあるから」が高い割合。
- ネット通販に関する情報入手先は、20代は、「友人等からの情報」「SNS等」が他の世代と比べて突出。一方、70代では、「検索サイト」「生産者のHP(ホームページ)」「会社、個人のHP」が高い割合。情報入手手段として、20代は友人やSNSなどを頼りにしており、高齢者では自ら検索・閲覧している傾向。

図8 農林水産物などをネット通販で購入したことがあるかどうか

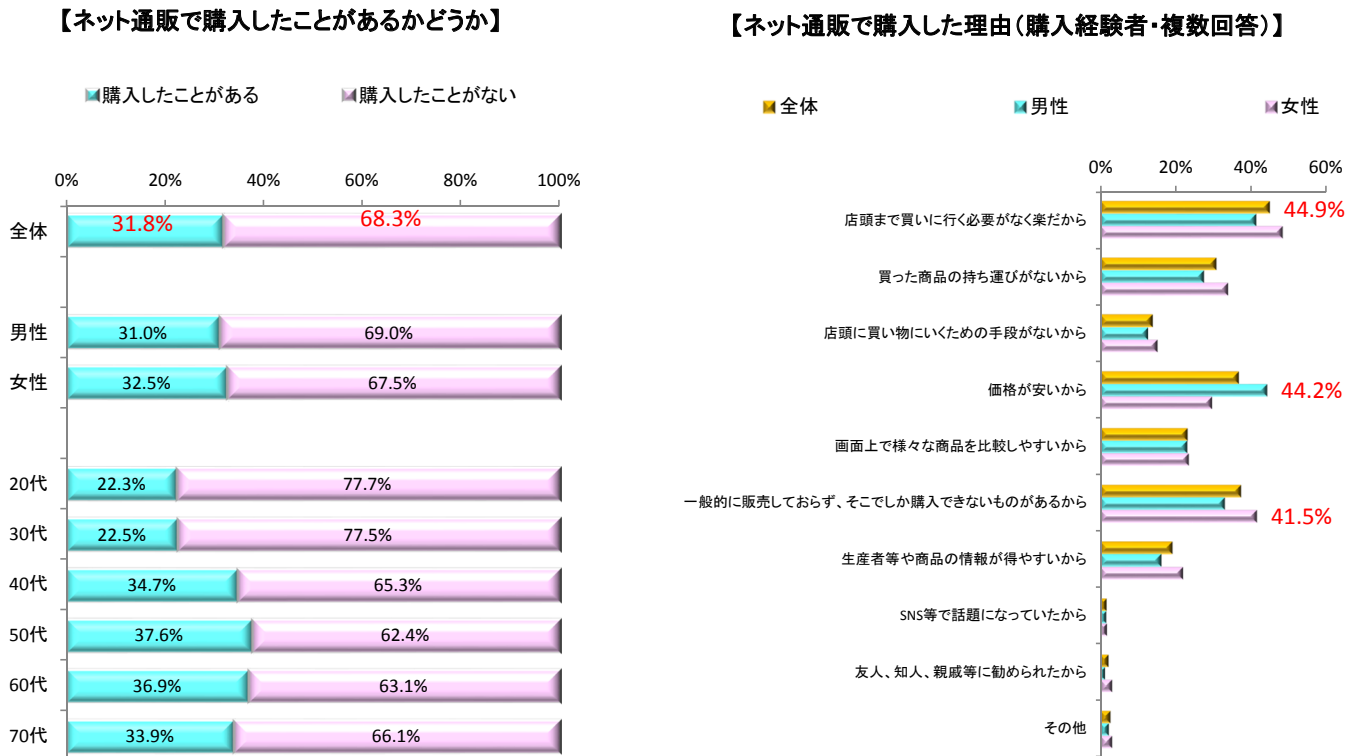
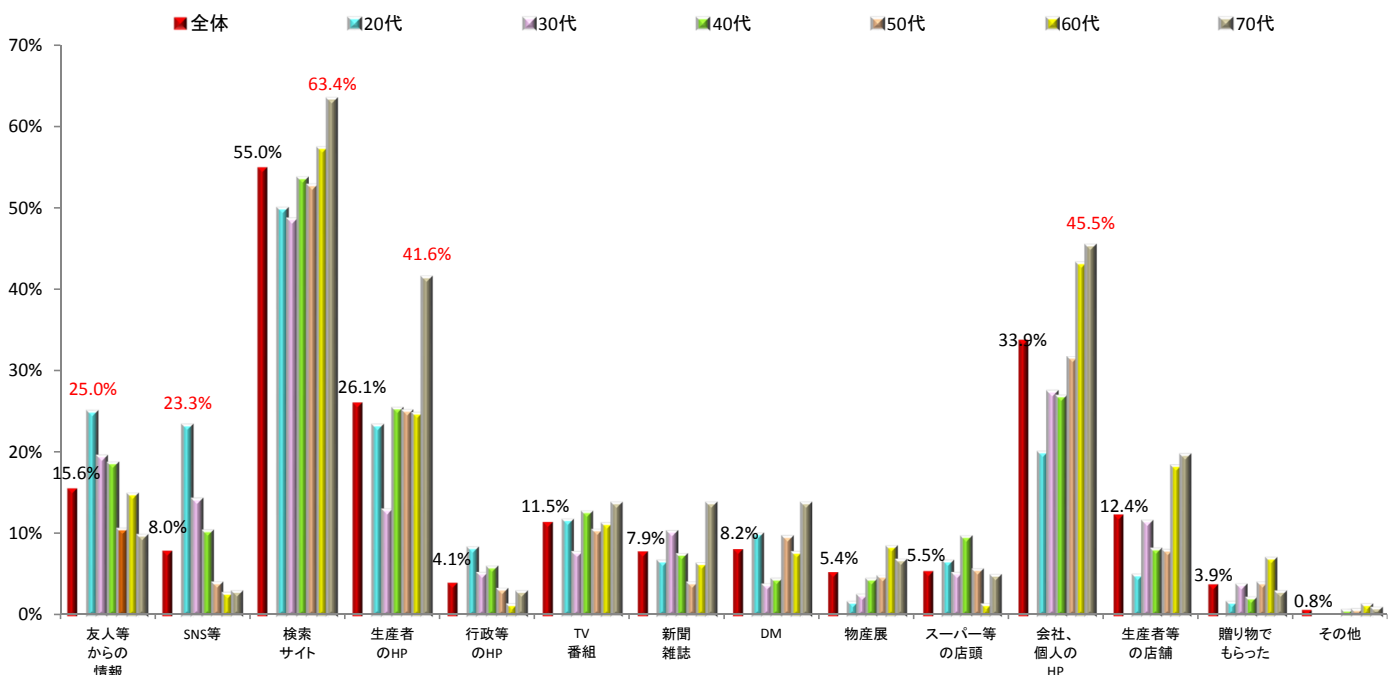


図9 ネット通販に関する情報の入手先(購入経験者・複数回答)



ネット通販、経験者の9割が今後も利用の意向

- ネット通販による農林水産物などの今後の購入意向について、購入経験者と購入未経験者に分けて質問したところ、購入経験者では、「増やしたい」が15.1%、「現状維持」が79.5%となり、9割以上が今後とも利用したいという意向。購入未経験者では、今後「購入してみたい」が約3割という結果。
- 購入経験者で「購入をやめたい」を選択した者と購入未経験者で「購入しない」を選択した者を除いた「購入希望者」に、今後ネット通販で購入したい品目を聞いたところ、「米」「果物」「魚介類」などが高い割合。
- ネット通販で商品を提供している事業者などに何を期待したいか聞いたところ、「生産者や商品の情報提供」を求める声が多。また、男性では「商品の価格をより安くして欲しい」が高く、女性では「配送料を安くして欲しい」が高いという結果。

図10 今後のネット通販による農林水産物などの購入意向

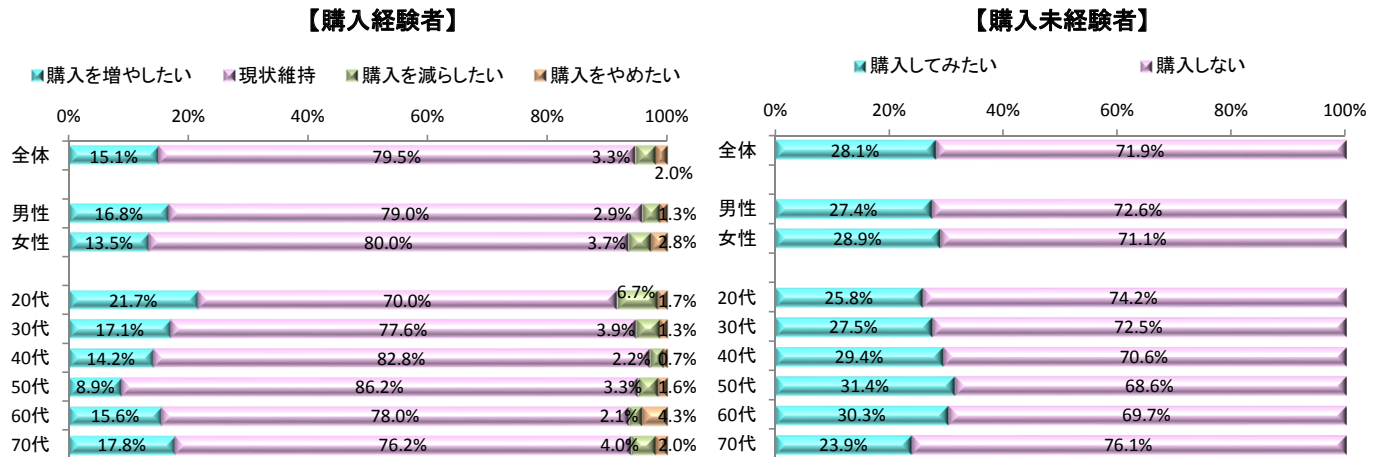


図11 今後ネット通販で購入したいもの（購入希望者・複数回答）

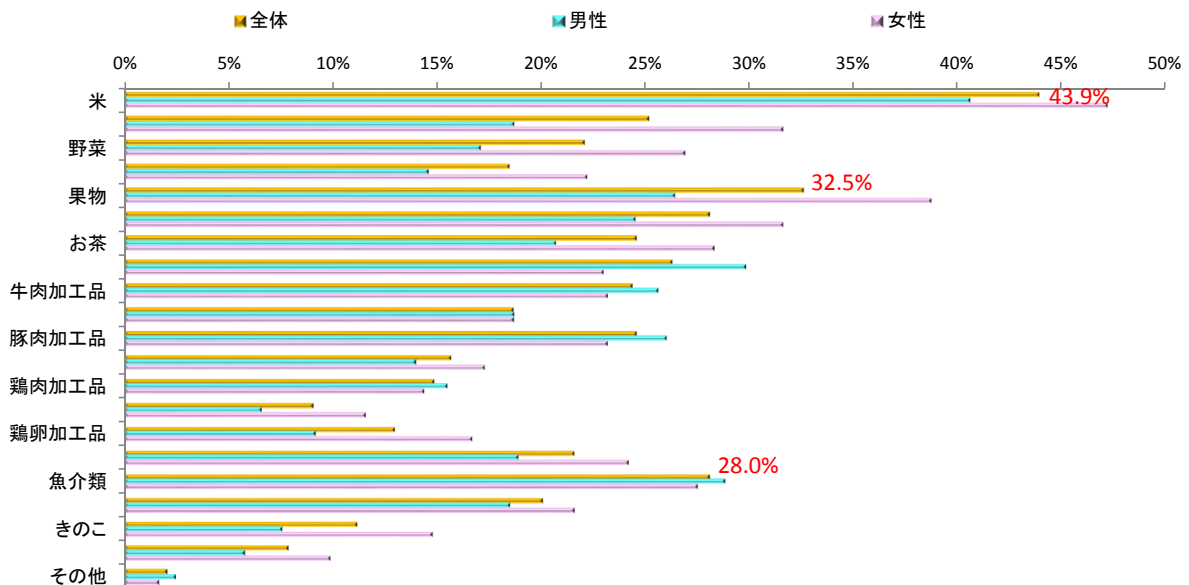
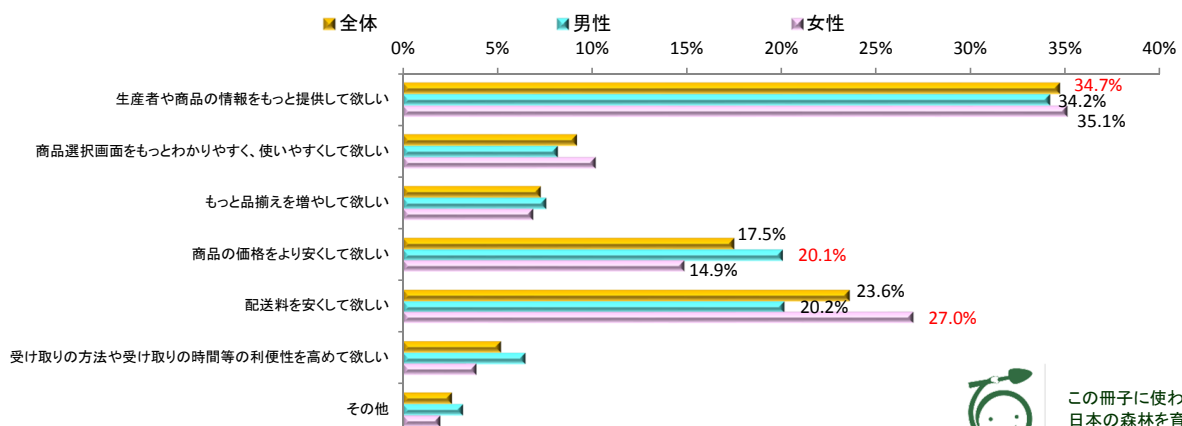


図12 ネット通販の事業者に対する期待



この冊子に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。